

第46課：ところです、ばかりです、はずで す

第46課整理兩個方向。第一個方向是「動作去到哪一個時間點」：正要做、正在做、剛剛做完。這一組用 **ところです** 和 **たばかりです**。第二個方向是「根據線索作出強推論」：照道理應該如此。這一組用 **はずです**。

學習時不要只背中文「剛剛」或「應該」。ところが **とても** 重視當下時間點，**ばかりです** 的「剛剛」比較有說話人的感覺，時間可以稍微寬鬆。**はずです** 不是隨便猜，而是有根據地推論。今課目標是把時間階段和推論根據講清楚。

■ 今課目標

- 用 V 辭書形+**ところです** 表示正要做某事。
- 用 V ている+**ところです** 表示正在做某事。
- 用 V た+**ところです** 表示剛剛做完某事，時間點很貼近現在。
- 用 V たばかりです 表示剛做完某事，但時間感比 V た+**ところです** 寬鬆。
- 用 普通形+**はずです** 根據已知條件推論『應該如此』。
- 掌握 **はずです** 前面的接續：動詞和い形容詞用普通形，な形容詞用 な，名詞用の。

■ 今課的核心

第46課不是單純增加幾個句尾。ところが **ところです** 要看動作進行到哪一刻；**ばかりです** 要看說話人是否覺得事情剛發生；**はずです** 要看推論是否有根據。先分清『時間階段』和『根據推論』，再處理接續，句子會穩定很多。

第46課三個入口

句型	主要功能	例句
V 辭書形/V ている/V た+ ところです	說明動作正要做、正在做、剛做完	今から 出かける ところです。
V たばかりです	說話人覺得剛做完	新しい定期券を 買った ばかりです。
普通形+ はずです	有根據地推論應該如此	田中さんは毎日練習していますから、 上手な はず です 。

一、V辭書形＋ところです：正要做

■ 動作即將開始

V辭書形＋ところです 表示動作還未開始，但已經到正要開始的時間點。中文可說『正要……』。這不是普通的未來計畫，而是很貼近現在的行動，例如正要出門、正要打電話、正要開始會議。

■ 形式規則

正要做的結構

步驟	檢查	例子
第一步	找出即將開始的動作	出かける、電話する、始める
第二步	保持辭書形／原形	出かける
第三步	接 ところです	出かけるところです
第四步	確認語境是否貼近現在	今から出かけるところです

ところです 前面直接用辭書形／原形。這裡不用意向形，也不用ます形。先確認動作原形，再接 ところです。

■ 例句

1. 今から駅へ向かうところです。

→ 我現在正要去車站。動作還未開始，但馬上會開始。

2. 先生に質問をするところです。

→ 我正要向老師發問。する 保持辭書形。

3. 会議の資料を配ります。

→ 我正要派發會議資料。資料已準備好，動作即將開始。

4. 友だちに時間を確認します。

→ 我正要向朋友確認時間。

■ 練習

一、用 V 辭書形+ところです 完成句子。句子要表示正要做某事。

- ① 今から駅へ向かう → _____
- ② 先生に質問をする → _____
- ③ 会議の資料^{しりょう}を配る → _____
- ④ 友だちに電話する → _____
- ⑤ 新しい練習を始める → _____

二、Vているところです：正在做

■ 動作正在進行中

Vているところです 表示動作已開始，而且正在進行中。它比普通的 Vています 更有『現在正處於這個階段』的感覺，常用在別人問你在做甚麼、事情進度去到哪裡時。

Vています 和 Vているところです

形式	焦點	例句
Vています	正在做、狀態或習慣，範圍較廣	今、作文を書いています
Vているところです	正處於動作進行中這個時間點	今、作文を書いているところです

■ 例句

1. 今、先生からのメールを読んでいるところです。
→ 我現在正在讀老師的電郵。強調讀電郵正在進行中。
2. 受付で名前を書いているところです。
→ 我正在接待處寫名字。
3. 母は台所で晩ご飯を作っているところです。
→ 媽媽正在廚房做晚飯。
4. 学生たちは教室で発表の練習をしているところです。
→ 學生們正在課室練習發表。

■ 練習

二、用 **V** ているところです 完成句子。先由辭書形／原形確認て形，再接 いるところです。

- ① メールを読む → _____
- ② 受付で名前を書く → _____
- ③ 晩ご飯を作る → _____
- ④ 発表の練習をする → _____
- ⑤ 駅で友だちを待つ → _____

三、**V** たところです：剛剛做完

■ 動作剛結束，時間很貼近現在

V たところです 表示某個動作剛剛完成。重點是時間點很貼近現在，常有『剛完成，還未進入下一步』的感覺。例如剛到、剛交功課、剛查完資料。變形時先由辭書形／原形變成た形，再接 ところです。

■ 形式規則

由辭書形／原形到 **V** たところです

辭書形／原形	た形	接 ところです
着く	着いた	着いたところです
出す	出した	出したところです
読む	読んだ	読んだところです
する	した	したところです

V たところです 的入口是た形。た形可按第19課由辭書形／原形整理，不要用ます形刪除來教。

■ 例句

1. 今、学校に着いたところです。

→ 我現在剛到學校。着いたところ 強調剛剛完成。

2. さっき宿題を出したところです。

→ 我剛才剛交了功課。

3. 今、先生の説明を聞いたところです。

→ 我剛聽完老師的說明。

4. ^{もうしこみしょ} 申込書を書いたところです。まだ受付には出していません。

→ 我剛寫好申請表。還未交到接待處。

■ 練習

三、用 **Vたところ**です 完成句子。表示動作剛剛完成。

- ① 学校に着く → _____
- ② 宿題を出す → _____
- ③ 先生の説明を聞く → _____
- ④ 申込書を書く → _____
- ⑤ 資料を確認する → _____

四、**Vたばかり**です：說話人覺得剛做完

■ 時間可以比 **Vたところ**です 寬鬆

Vたばかりです 也表示剛做完，但它不像 **Vたところ**です 那樣一定貼近當下。說話人覺得『才剛做完』就可以用，所以昨天、上星期、上個月的事，在合適語境下也可以用。例如新買的電話用了兩星期，仍可說 買ったばかりです，因為說話人覺得很新。

Vたところです 和 **Vたばかり**です 的分別

形式	時間感	例句
Vたところ	剛完成，時間很貼近現在	今、駅に着いたところ
Vたばかり	說話人覺得剛做完，時間較寬鬆	先週このかばんを買ったばかり

■ 例句

1. 先週この辞書を買ったばかりです。
→ 我上星期才買了這本字典。雖然不是剛剛，但說話人覺得很新。
2. 新しい仕事を始めたばかりですから、まだ慣れていません。
→ 我剛開始新工作，所以還未習慣。
3. 昼ご飯を食べたばかりです。今は何も食べたくありません。
→ 我剛吃完午飯。現在甚麼都不想吃。
4. 妹は日本語を習い始めたばかりです。
→ 妹妹剛開始學日文。

■ 練習

四、選擇 たところ です 或 たばかり です。若時間點非常貼近現在，用 たところ です。若重點是說話人覺得剛做完，用 たばかり です。

- ① 今、駅に着きました。→ 駅に着い_____。
- ② 先週このかばんを買いました。まだ新しいです。→ 買っ_____。
- ③ 今、資料を送りました。まだ返事はありません。→ 送っ_____。
- ④ 先月この町へ引っ越しました。まだ道が分かりません。→ 引っ越し_____。
- ⑤ 今、宿題を出しました。→ 出し_____。

五、普通形＋はずです：有根據地說應該如此

■ 不是亂猜，而是照線索推論

はずです 表示根據資料、規則、經驗、安排或看得到的線索，推論某件事應該如此。它比 でしょう 的根據通常更清楚。中文可譯成『應該』，但日文重點是有沒有根據。例如『地圖上寫十點開門，所以應該已經開了』就適合用 はずです。

■ 形式規則

はずです 的接續

前面類型	普通形内容	接 はずです
動詞	店が開く	店が開くはずです
動詞過去	山田さんが着いた	山田さんが着いたはずです
い形容詞	試験は難しい	試験は難しいはずです
な形容詞	駅の近くは便利	駅の近くは便利なはずです
名詞	明日は休み	明日は休みのはずです

はずです 前面通常用普通形。動詞和い形容詞直接接 はずです。な形容詞現在肯定用 なはずです，名詞現在肯定用 のはずです。

■ 例句

1. 地図では十時開店ですから、もう店は開いているはずです。
→ 地圖上寫十點開門，所以店應該已經開了。根據是地圖資料。
2. 山田さんは三十分前に駅を出ましたから、もう学校に着いたはずです。
→ 山田先生三十分鐘前已離開車站，所以應該已經到學校。
3. この問題は先生が作りましたから、大切なはずです。
→ 這條題目是老師出的，所以應該很重要。な形容詞 大切 要用 なはずです。
4. カレンダーでは明日は祝日ですから、学校は休みのはずです。
→ 月曆上明天是公眾假期，所以學校應該放假。名詞 休み 要用 のはずです。
5. 毎日練習していますから、林さんは発音が上手なはずです。
→ 林同學每天練習，所以發音應該很好。

■ 練習

五、用 **はず**です 完成推論句。留意な形容詞用 な，名詞用 の。

- ① 店が開いています。根據：地圖上寫十時開店 →

- ② 山田さんは学校に着きました。根據：三十分前に駅を出ました →

- ③ この問題は大切です。根據：先生が作りました →

- ④ 明日は休みです。根據：カレンダーでは祝日です →

- ⑤ 林さんは発音が上手です。根據：毎日練習しています →

六、でしょう 和 はずです 怎樣分

■ 根據的強度不同

でしょう 和 はずです 都可以譯成『應該』，但語感不同。でしょう 可以是推測、確認或溫和地問對方認同。はずです 通常是說話人根據資料、規則或情況，認為照道理應該如此。如果沒有明確根據，只是大概估計，用 でしょう 或 かもしれません 會比較安全。

推測表現的基本分工

形式	根據感	例句
でしょう	推測或求認同，可較柔和	明日は雨でしょう
かもしれません	可能性，有不確定感	明日は雨かもしれません
はずです	根據較清楚，照理應該如此	天気予報で雨と言っていたから、明日は雨のはずです

■ 練習

六、判斷是否適合用 **はず** です。寫 **O** 或 **X**。若是 **X**，簡單寫出原因。

- ① 時刻表では九時五分に着きますから、もう着いたはずですよ。 → _____
- ② 何となく雨が降るはずですよ。 → _____ 原因： _____
- ③ 先生が昨日説明しましたから、みんな知っているはずですよ。 → _____
- ④ 初めて会いますが、あの人は親切なはずですよ。 → _____ 原因： _____
- ⑤ 今日は日曜日ですから、銀行は休みのはずですよ。 → _____

七、總整理：時間階段和根據推論分開看

■ 先問這句在做甚麼

第46課做句子時，先問任務。如果要說動作進度，選 **ところです** 或 **たばかり** です。如果要說推論，選 **はず** です。再問接續：**ところです** 看動詞是辭書形、ている，還是た形；**ばかり** です 用た形；**はず** です 用普通形，但な形容詞和名詞要特別處理。

■ 練習

七、按中文提示寫完整句子。每題已指定要用的句型。

- ① V辭書形+ところです：我正要去接待處。 → _____
- ② Vているところです：我正在確認電郵。 → _____
- ③ Vたところです：我剛交了申請表。 → _____
- ④ Vたばかりです：我上星期才搬到這個城市。 → _____
- ⑤ はずです：地圖上寫很近，所以車站應該很近。 → _____
- ⑥ 三句連用：正要出門，收到朋友電話，推論他應該已經到車站。 → _____

■ 常見錯誤

- **×** 今から出かけますところです。
○ **今から出かけるところです。**
正要做用 V 辭書形+ところです，不用ます形。
- **×** 今、作文を書くところです。想講正在寫
○ **今、作文を書いているところです。**
正在進行中要用 V ているところです。V 辭書形+ところです 是正要做的。
- **×** 一年前日本へ来たところです。
○ **一年前日本へ来ました。或 日本へ来たばかりです。視乎語境**
たところです 要求時間很貼近現在。一年前通常不適合。
- **×** この店は便利はずです。
○ **この店は便利なはずです。**
な形容詞現在肯定接 はずです 時要用 な。
- **×** 明日は休みはずです。
○ **明日は休みのはずです。**
名詞現在肯定接 はずです 時要用 の。

■ 練習

自己輸出：寫六句。兩句用 ところです，不同時間階段各一句；一句用 たばかりです；三句用 はずです，分別接動詞、な形容詞、名詞。每句旁邊寫出你的根據或時間線索。

- ① ところです，正要做的： _____
- ② ところです，正在做或剛做完： _____
- ③ たばかりです： _____
- ④ 動詞+はずです： _____
- ⑤ な形容詞+はずです： _____
- ⑥ 名詞+はずです： _____

整理：畫兩欄。左欄寫 ところです 和 たばかりです 的時間線，右欄寫 はずです 的接續表。每欄補兩句自己的例句，並圈出接續位置。
